NIE実践報告

１．タイトル：☆進路指導の一環としてのNIE活動～小論文指導としての活用～

２．学校名

静岡県立大井川高等学校

３．実践者名（代表者名）

川上　努

４．学年

第3学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　196人

６．単元（本時の学習課題）名

『自分の進路に関係がある』新聞記事を使って意見をまとめる

７．目標（狙い）

自分の進路に関係する新聞記事を探しながら新聞に目を通すことで、社会の動きを知り、面接や小論文に生かせる知識を身につける。

８．評価の視点

新聞記事を読み、意見をまとめさせたレポートの内容で評価する。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

2学期(10月頃を中心)に5時間(夏休み前に簡単な事前指導あり)

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

4月以降、生徒は自分の進路について調査し、検討してきているので、このNIE活動の時期には、推薦入試やAO入試などを受験する生徒は、実際に小論文が課せられるかどうかわかっており、必要な生徒にとっては新聞を通じて必要な知識を得ることで、自分の関心のある進路についてのより深い考察が行われる。また、新聞各紙に目を通すことで、各紙のスタンスの違いに気づき、様々な角度から検討することが可能となり、回数を重ねていくごとに、記述内容に成長がみられる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

NIE活動についての評判はおおむね良い。またそれまで縁遠かった新聞の魅力を発見するきっかけになっているようである。

12．成果と課題

NIE活動の回数を重ねていくごとに記述に深みが出てくる生徒が多くなっていったり、新聞に親しみを感じてくれた生徒が増えたように思われ、実際の入試でも役に立った生徒がいたようであり、まずまずの結果と思われる。ただし、一部生徒の中にNIE活動に疑問を持つ意見もあるため、目的や手段についてより深い研究が今後も必要である。